

生涯学習館

3日(金)は館内整理日のため休館です。

開館時間 平日 10:00~19:00
土・日 9:00~17:00

生涯学習館・子ども未来創造館 2周年記念 長谷川義史ワークショップ 夢の一枚~オリジナルTシャツづくり~

「いいからいいから」や「ぼくがラーメンたべてるとき」でもおなじみの絵本作家・長谷川義史さんの楽しいお話を聞き世界でたった一枚のオリジナルTシャツを作りましょう!

日時:10月26日(日) 午後1時30分~
場所:富士河口湖町中央公民館ホール
持ち物:無地のTシャツまたはトレーナー 一枚
絵筆、絵の具をふくタオル、アイスなどの容器5こ(あれば)
*持ち物には名前を書いてきてください。
参加費:一人500円
服装:汚れてもいい服装(アクリル絵の具を使用するため、服に付くと落ちません)
定員:80名 どなたでも可
*小学生以下は保護者の方と一緒にお願いします。
申し込み:10月6日(月)より受付開始



申し込み・お問い合わせ

生涯学習館【0555-73-1212】もしくは
生涯学習課【0555-72-6053】まで!

いやしの里根場展

昔の農村の様子を再現した西湖のいやしの里根場が生涯学習館にやってきます!この展示を見て、ぜひ西湖のいやしの里にも足を運んでみてくださいね!



内容

昭和30年代の根場村の様子が見える貴重な写真を展示します。
町内在住の押し花アーティスト・金子政子さんの押し花作品を展示します。

展示期間:10月8日(水)~10月22日(水)

第2回読書会

日時:10月25日(土) 午後2時~

場所:生涯学習館 学習室1

課題:「ラベルのない缶詰をめぐる冒険」
アレックス・シアラー 著



新着図書情報

われに千里の思いあり 中村彰彦 きのうの世界 恩田陸 三月の招待状 角田光代 セーヌの川辺 池澤夏樹 いかだ満月 山本一力
どちらかが魔女 森博嗣 新魔獣狩り 夢枕獏 天安門/ShanSa
偽物語 西尾維新 図書館の活動と経営 大串夏身 Herstories
彼女たちの物語 榎本正樹 崖の上のポニョ 宮崎駿 英語のリスニングが3時間でうまくなる 岩切良信 身近な漢字を楽しむ 小山光一
英国流ビスケット図鑑/スチュアート・ペイン できる子が育つ黄金の時間割 中畑千弘 シングルライフの老い支度 眞輪和秀 異次元の刻印 グラハム・ハンコック リリーと秘宝の島 ナタリー・ジェン・ブライアー いいから、いいから3 長谷川義史 日経業界地図 2009年版 負けるな、ロビー! マイケル・モーパープ ビジネス エコリーダーになるう ほか

朗読講座

参加者募集!!

声を出して読むと体や脳にいいってご存知ですか?朗読を通して声の出し方や読み方を練習してみましょ!

日時:11月10日(月) 午後1時30分~
11月17日(月) 午後1時30分~
12月1日(月) 午後1時30分~

場所:生涯学習館

講師:鈴木久夫先生

(沼崎市在住ボイストレーナー)

申し込み:生涯学習館【0555-73-1212】

読み聞かせ会

0・1・2歳対象 午前10時30分~

ブラウンベア(えいご) 10月14日(火)

うさぎのおやこ 10月28日(火)

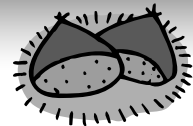
幼児~小学生低学年対象 午後1時30分~

パパのえほんタイム 10月11日(土)

エトワールの会 10月25日(土)

小学生低学年対象 午後4時30分~

ピコタイム 毎週水曜日



10月の分館の予定

	開館日	開館時間	読み聞かせ会 午後4時30分~
大石・河口	火・木曜日	午後3時~6時	16日
上九一色	月~金曜日	午後1時~5時	17日



問い合わせ / 生涯学習館

TEL 0555-73-1212

FAX 0555-73-1358

URL <http://www.fujikawaguchiko.ed.jp>

E-mail library@fujikawaguchiko.ed.jp

富士河口湖古の小径

石和へ出て来い!

文化年間の谷村陣屋所管替騒動

本号では大多数の読者も御存知ないと思われる文化年間におこった郡内諸村の騒動を紹介したい。この騒動は一代官発案の陣屋所管の変更により、苦境に陥った郡内諸村が行った撤廃運動であるが、江戸時代の陣屋と民衆の関係や郡内という地域を考える上で、大変示唆に富んだ内容を含んでいる。なお、出典は小立の小池直樹家文書、都留郡支配者及代官・手代連名帳である。

私達が生活している郡内は、秋元氏三代が七二年間の支配の後川越に転封になり、甲府藩主柳沢吉保預かりを経て、一七二三(正徳三)年に幕府直轄領になった。そのため谷村陣屋が現在の都留簡易裁判所の所に設置された。この陣屋は石和陣屋(現石和南小学校敷地内)などの出張陣屋であったが、これ以降、郡内の村人たちは年貢の納入、訴訟、願立、届けなどの全ての用事を谷村陣屋で行うことになった。

ところが、それから約九十年後の一八〇六(文化三年)六月二十日、当時の石和代官であった蓑笠之助は、郡内一々力村の村役人を急遽石和陣屋に呼び寄せ、一同が息を呑むよ



うな命令を自ら下したのである。その命令は陣屋所管の変更を行うというもので、今後年貢と備荒貯蓄以外の用事はすべて谷村陣屋では扱わず、石和陣屋扱いにするという内容であった。要するに今後は用事があつたら石和へ出て来いというのである。代官は驚愕する村役人達にその場で請印(承諾印)の提出を迫り、村役人達が再考を嘆願すると、入牢を命ずるといふ暴挙に出たのであつた。村役人達も止むを得ず、請印を提出してひとまず各々に帰つたのであつた。

村役人達からこのことを聞いた各村では、今後の生活に重大な影響が出るこの命令はとも承諾できないと大騒ぎになった。谷村では陣屋の上部機関であり、直轄領の民政を管轄する勘定奉行所へ訴えて、中央から事態の打開を図ろうということになり、六月二十三日には上・下谷村の村役人四人が江戸へ向かつて旅立っている。彼らは八月十日までの四十日余りの間に、奉行所への駆込願いや駕籠訴を七回行ったと古文書は記している。しかし、事態の打開は計れず、彼らは重い足取りで谷村へ引き返したのであつた。

こうした中で、八月二十八日に代官蓑笠之助が郡中諸村見廻りのため、谷村へやって来るといふ知らせが入つた。この廻村はもう一度代官に再考を嘆願する絶好の機会になると人々は考え、この日は朝から周辺の村人も詰め掛け、谷村の町は人で満ち溢れたといふ。正午に下谷村の嶋屋の前に代官を乗せた駕籠が到着すると、人々は路上に座り込んで駕籠を止め、難儀を訴えた。しかし、代官は耳をかさず、事態には何ら進展は見られなかつたのである。以上が騒動の発端と運動の概略である。

ところで、この運動の関係者をどのように処罰したかを記した文書が、『富士吉田市史

史料編第三巻』にあつた。以下これを紹介する。まず処罰の対象になつた行動は次の四つであつた。

- A 文化三年六月の御請印難渋
- B 度々の奉行所への願出
- C 蓑笠之助廻村先へ多数押し寄せての願立
- D 老中への駕籠訴

この四つの行動に対する処罰は文化五年三月に次のように行われていた。

- 上・下谷村の名主・組頭：A・B・C(Dは記ない)で名主は過料錢五貫文ずつ
- 組頭は同三貫文ずつ
- 上谷村百姓一同：B・Cで過料錢一二貫文
- 下谷村百姓一同：B・Cで過料錢一六貫文
- 下吉田村外一五力村の名主・組頭：B・D
- で急度叱り

紙幅の関係で用語の説明や下吉田村以外の村名などは省略したが、これを見るとこの運動は谷村の村役人や村民が中心であつたことを確認できる。また、谷村以外の村も奉行所への訴えや老中への駕籠訴を行つており、前述の古文書に記された以外の運動の実態を知ることができる。なお、急度叱りを受けた村の中に本町の旧村名はなかつた。

ところで蓑笠之助はなぜこのような陣屋所管の変更を行つたのであつたか。

後述する『甲国律令雜輯』には、蓑笠之助がこの処置を実施した理由として、郡内人はすぐ訴訟沙汰を起こすなど氣質が良くないので、その防止と矯正のためにこの方法を採用したと記している。しかし、実際にはこの頃



幕府の財政難が一層深刻になる中で、この騒動が起きる前年の文化二年に、代官減少策が勘定奉行から幕閣に提出されており、このことが背景にあるのではないかと私は考えている。

さて、この騒動の結末はどうなったかを記さなくてはならない。

その顛末は、『甲斐叢書七巻』の前述した甲国律令雑輯』に記されている。

蓑笠之助はこの騒動の渦中、文化五年に死亡している。一代おいた次の石和代官・矢橋松次郎は、文化七年に所管の一部を谷村陣屋に戻すが、さらに文化十二年には、全面的に文化三年前の状態に戻したいという伺書を勘定奉行所へ提出している。彼は伺書の中で、郡内の諸用事を石和陣屋扱いにしたため、郡内の人々の労力、経費は莫大なものがあり、暮し向きは年々悪くなっていると述べ、郡内人の気質の矯正については、今後自分も廻村の折など率先して当たるので所管を以前に戻しても大丈夫だと述べている。

この何は半年後に、書面伺の通り取り計らうべく候 以上」と裁許された。再び谷村陣屋で全てが取り扱われることになった。この簡潔な裁許を獲得するまでには村人たちの代官への働きかけがあったと思うが、この時の郡内人の喜びはいかばかりであったらうかと思う。

小池家の古文書は、この節は、村役人は勿論小前百姓末々の者まで長い間難儀困窮した。この一件のため経費なども上・下谷村では二千両も使い捨てで、両村一統難儀困窮した。」と記している。そして、矢橋松次郎については次のように記している。

「この代官は殊のほかご仁恵で御陣屋を元のようによせ付けられた。」

(文化財審議会委員 中村章彦)

社協だより

赤い羽根募金。

歳末助け合い運動に ご協力をお願いいたします

皆様のご理解、ご協力に支えられ、共同募金運動は、今年で62回目を迎えます。近年、各地では地震、風水害等災害や、痛ましい事件が多発する等、様々な問題が浮き彫りになっていきます。

共同募金は、人々が共に生きていこうという「たすけあい」の心に支えられ、人々の幸せを願って共に歩んできました。共同募金運動は、10月1日から12月31日まで、「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに全国斉に行われ、約2百万人の方がボランティアとして活動しています。

当町ではこの期間に自治会・区会を通じて戸別募金、企業等からの大口募金、町職員等より職域募金を募ります。

皆さんからいただいた募金は、富士河口湖町分会(町社会福祉協議会が事務局)にて取りまとめ、一旦、県共同募金会へ納付を行い、そこから福祉施設や福祉活動を推進している団体に配分されます。

当町での配分金は、高齢者福祉推進費として、また歳末たすけあい募金は、低所得者世帯等に、金品を寄贈するために使われます。

本年度も、多くの皆様方からのご協力をお願いいたします。



湖南町共助会から、船津小学校へ 手縫い雑巾を寄贈しました!

湖南町共助会代表 宇野みづ子(では、9月19日(金)に、船津小学校を訪れ、「わが母校の校舍をピカピカに磨いてほしい。」と手縫いの雑巾(206枚)を、児童会(渡辺範織会長)に寄贈しました。

湖南町共助会は、70歳以上の方を対象に、気軽に集まれる場作りに取り組んでおり、今年5月から、母校に雑巾を贈ろうと手縫いを始め、60〜70年前の船津小学校卒業生8名が届けました。お礼にと、母校である校舎内を荒井校長と渡辺教頭に案内いただき、可愛い1年生の授業風景も見学させていただきました。



20年度社協会費のご納入

お礼申し上げます

町社会福祉協議会は、町民の皆様からのあたたかい善意に支えられて運営されています。今年度も、自治会・区会のご協力により、多くの皆様からご納入をいただき、心よりお礼申し上げます。この会費は、地域福祉の啓発、高齢者・障害者福祉等の推進、ボランティア活動推進等に活用させていただきます。今後も、多様化する福祉ニーズに対する地域福祉充実のため、「社協会員」に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

家庭を守る防災対策 Part 21

【火山について】

私たちの町には、目の前に美しい富士山があります。

富士山は過去に大きな噴火を繰り返して成長してきた火山です。最も近い噴火は、江戸時代中期1707年(宝永4年)の宝永噴火です。

現在の日本では、過去1万年以内に噴火した証拠が見つまっている火山を活火山とみなしています。富士山は、およそ300年前に噴火したものですから、いつか噴火する可能性がある活火山であると言えます。

300年もの長い間噴火しないと、もう噴火しないのではないかと思いがちですが、火山の長い一生から見ると、300年などほんの短い期間です。

現在、富士山の火山活動は噴火する様子は見受けられません。

気象庁では、富士山にさまざまな観測機器を設置し常時観測したデータを解析しています。もし、観測結果に変化や異常が生じ、噴火の可能性が高まった場合はすぐにお知らせしますので、町やテレビ・ラジオからの情報に注意して下さい。

次回以降は、火山のしくみなどについて掲載予定です。



管理課 防災係 72-6013

国が支える。安心が大きくなる

しっかり積み立て、
安心して豊かな老後を！

家族みんなが
ニコニコ笑顔！

担い手積立年金

【奨励】

農業者年金

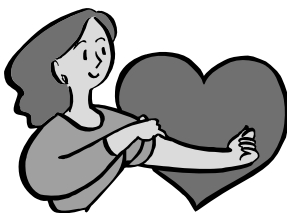
説明会

国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の人はだれでも加入できます。農地を持っていない農業者や、配偶者や後継者などの家族従事者も加入できます。脱退は自由です。脱退一時金は支給されませんが、加入期間にかかわらず、それまでに支払った保険料は将来、年金として受け取れます。

- ・ 日 時 平成20年10月21日(火) 午前10時30分～11時30分
- ・ 会 場 富士豊茂農協 2階 会議室
- ・ 主 催 (問合せ先)
富士河口湖町農業委員会 (事務局 72-1115)
富士豊茂農業協同組合 (89-2011)
- ・ 後 援 山梨県農業会議 ・ JA山梨中央会

献血にご協力下さい。

輸血用血液には有効期限があります。血液が使われない日はありません。
健康な皆さんの献血が毎日必要です。



日 時 10月16日(木) 午前10時～12時
午後1時～3時

場 所 町役場駐車場

協 力 河口湖ライオンズクラブ



輸血用血液の安全対策として、本人確認ができるものを持参下さい。

第110回 富士河口湖

紅葉まつり

The 110th Fuji Kawaguchi Lake Autumn and Snow Festival
第110回 富士河口湖紅葉まつり

2008.10.24 ▶ 11.16

開催時間 / 午前9時～午後9時 (ライトアップ午後10時まで)

メイン会場 / 河口湖畔 もみじ回廊 (河口湖美術館通り)
ライトアップは「もみじ回廊」をメインに各地区のポイントで実施予定

紅葉まつり期間中の催し物

もみじ回廊ステージ

＊弦楽四重奏 (UKA河口湖オルゴールの森提供)

＊和太鼓

ステージイベント日程については要問合せ

もみじ回廊会場

秋の物産コーナー、あま酒販売、焚き火

花火：期間中毎週土・日

七福神参りをした方には会場にてちよっぴりプレゼント

(もみじ街道)

河口湖美術館前から、メイン会場までの湖畔沿いの街道、河口湖ともみじを眺めながらの散歩などはいかがでしょう。
(期間中ライトアップ)

(もみじ回廊) 紅葉まつりメイン会場

この祭りのメイン会場となるのが、ここ「もみじ回廊」です。古木もみじが60本あり、夜のライトアップがみどころです。

西湖いやしの里根場

茅葺集落と紅葉が楽しめるところです。また、夜のライトアップも心を癒されます。

富士を望むちよっぴりからの風景で癒されて

スタンプラリー開催 10/ 24(金)～11/ 16(日)

スタンプラリー開催中、富士山写真展開催 場所:精進湖活性化センター 本栖湖観光協会2F

精進湖観光協会:期間中土・日のみ、なめこ汁サービス 11:00～15:00 場所:精進湖県営駐車場前の湖畔



期間中、下記団体・施設でも様々なサービスやイベントを行っています。

河口観光協会、河口地域振興協議会、大石観光協会、勝山・西湖・奥河口湖観光協会、東京電力(株)大月支社、野天風呂天水、久保田一竹美術館、木ノ花美術館、猿まわし劇場、UKA河口湖オルゴールの森、河口湖クラフトパーク、天上山公園カチカチ山口ロープウェイ、遊覧船、富士河口湖ふるさと振興財団各施設、町営各施設、富士河口湖町観光連盟

問合せ先 町役場観光課 72-3168



募集

第25回富士河口湖町住民ゴルフ会参加者募集

日時 11月10日(月)
場所 河口湖カントリークラブ
対象者 町内在住者
ブレイ代 13000円(税・諸経費含む)
但し、2B(バック)は追加料金
21000円、3B(バック)は
追加料金 525円
特典 昼食・練習ボール(30球)付
申込期間 11月6日(木)まで(申込用紙有)
問合先 役場2階総務課船津財産区事務局
72 11112

「体協スキー部からのお知らせ」

スポーツ教室 親子グラススキー練習会
日時 10月19日(月)午後1時30分～4時
集合 午後12時30分 民宿八崎園
対象 スキーブーツが21cmの親子
滑走料 1回につき 高校生以下1040円
大人1570円(レンタル込み)
持ち物 カップ・タオル・手袋・着替え等
雨天決行(悪天候時は中止の連絡します。)
傷害保険は各自で加入して下さい。
申込み 1週間前までにFAXで
申込み・問合先 河口湖スキークラブ事務局
坂本栄樹 090 4749 4007
72 1736 民宿八崎園
口湖スキークラブ ジュニア部員募集
スキーを好きなお父さんお母さん、お子さん
と一緒にスキーを楽しませんか?
河口湖スキークラブでは、小学1年生から中学

3年生のジュニア部員を募集しています。
問合先 河口湖スキークラブジュニア部
保護者会 梶原 20 4100

**国際交流協会主催
「しゃべってみよう! 韓国語(昼の部)」**

目的 生活の中でもっとも身近な「ことば」
を通して、隣国である韓国を知る。
国際交流・異文化交流を感じ、外国人
との交流の輪を広げる。
日時 11月5日(平)平成21年2月25日
毎水曜日(全15回)
時間 午後2時～午後3時30分
場所 富士河口湖町中央公民館
費用 5520円(テキスト代 2520円
受講料 3000円)
定員 20名(定員になり次第締め切る)
講師 呉 辰 慶
締切日 10月24日
習ったことのある方も初心者も大歓迎
楽しみながら韓国語を学びましょう。
問合先 町国際交流協会 (72 6053)

「山梨県シルバー人材センターからのお知らせ」

「植木管理コース」

植木管理の基本知識・道具の使い方、樹木の病
害虫駆除と安全管理、整枝剪定の方法と緑地管理
に必要な機械器具の安全な取扱方法を学びます。
日時 11月11日(火)～11月27日(木)
(土・日・月と祝日、その翌日を除く10
日間、午前10時～午後3時)
会場 恩賜林県有財産保護組合(富士吉田市)
対象者 概ね60歳台前半層の方で、雇用、就業
を希望される方

受講料 無料 定員 20名
申込締切 10月24日(金)
申込・問合先

(社)富士五湖広域シルバー人材センター
西部事務所 72 3548
主催 社県シルバー人材センター連合会
055 228 8383

**「コミュニティーカレッジ講座
健康科学大学」**

テーマ 地域に根ざす大学の役割
(大学の研究成果を地域の方々へ)
日時 10月25日(土)午後1時～4時10分
内容 基調講演 健康科学大学が地域に果たす役割
分科会 健康科学大学 学長 折茂肇
お酒と心の健康
本日はこわい糖尿病合併症
発達障害の作業療法
申込み 10月17日(金)まで
締切り 10月17日(金)まで
申込み・問合先 健康科学大学総務課
83 5200 FAX 5100
Eメール soun@kenkoudai.ac.jp

山梨赤十字病院・栄養療法講演会

日時 11月1日(土)午後4時～6時
場所 昭和大学富士吉田校舎
講演会 健康のための栄養支援
～地域の栄養サポートを考える～
演題 「PEG(胃ろう)の管理について」
横浜市立みなと赤十字病院
皮膚排泄ケア認定看護師 高田先生